



高井戸東小学校

6月号
No. 617

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/takaidohigashisyou/> TEL 03-3304-5711

かがやく いのち

校長 馬場 章弘

毎年5月6月と9月10月は杉並区では「いのちの教育月間」として、「生命尊重」や「思いやり・親切」について授業でいつも以上に取り組んでいます。また、同じ時期に「自殺予防」や「不登校対策」についての取り組みも行っています。

ちょうどこの時期に、毎年各学級や専科の先生の授業をまわり、子供たちの様子を見せてもらっています。黙々とノートを書いたり自分の作品を作成したりしている子、ちょっと外の様子が気になる子、自分の思ったことを言いたくて言いたくて止まらない子など、まさに十人十色です。その一人一人が、「かがやく いのち」であり、すばらしく、大切なものであることは間違いありません。

子供たちはそれまでの育ってきた環境やその他たくさんの要因により「得意・不得意」があります。また、感覚が敏感すぎたり心の動きが激しすぎたりすることがあります。逆に、学習や作業に対して大きな関心が湧かず、なんとなく無気力で非社会的な行動にでる子もいます。そのことに対して一番気にしているのはやはり本人です。そしてその子に学校で接している私たち教員は、「どのような授業をしたら、興味をもってくれるだろう」「どのような言葉かけをしたら前向きな気持ちになってくれるだ

ろう」と、悩みます。この悩みは初任者でもベテランでも同じです。なぜなら、目の前にいる子供たちは、当たり前のことですが一人一人が違って、以前うまくいったとしても、今回うまくいくとは限らないからです。極端なことを言えば、子供たちも私たち教員自身も、1分1秒たりとも同じときはありません。常に変化しています。家庭だけでも学校だけでも対応するには限界があります。子供の将来も考えながら、力を合わせて「かがやく いのち」を守り育てていきたいと考えています。

そして高東小の大きな「強み」として、地域の方々も「かがやく いのち」を守り育てることに力を貸してくださっています。かつてお子さんが高東小に通っていた保護者の方が「見守りボランティア」として校内で定期的に子供たちに寄り添ってくださっています。また、校外でも、民生委員や青少年委員の方をはじめ、何か肩書が無くてもいつも子供たちの様子を気にかけてくださり、いざというときには助けてくださっています。本当にありがとうございます。

子供たちを中心として、保護者・地域・学校それぞれが一緒にかがやいていければと思います。

教育相談の取組について

教育相談コーディネーター
竹川 優子

教育相談の目指すところ

「相談」と聞くと、個別の対応が主となる取組をイメージされがちですが、教育相談はそれだけに留まりません。子供たちの心の成長を支える全ての活動が教育相談に含まれます。いじめ、不登校等の問題への対応の他に、本校では学級経営の研修や学級満足度調査「Q-U」の取組を教育相談委員会が担います。全ての教育活動の土台は、学校、学級の安心（心理的安全性）にあります。その心理的安全性をどのように構築していくかが教育相談の目標になります。

子供見守りチーム

保健室登校支援や教室での寄り添い支援のため、卒業生の保護者の方々を中心に「子供見守りボランティア」事業が開始され3年目となりました。今年度は、昨年度より日数がさらに増え、週2～3日来てくださっています。職員室前の廊下にメンバー紹介の写真が掲示されていますのでご覧ください。地域の方々にも支えていただきながら、連携を密にし、「チーム」として、高井戸東小の子供たち一人一人の成長を見守っていかれたらと思います。